

## 会 議 録

|                          |   |
|--------------------------|---|
| 会 議 の 名 称                | 枚方市委託業務総合評価一般競争入札評価員会議（平成26年度第5回）   |
| 開 催 日 時                  | 平成27年2月6日（金） 午後2時30分から午後3時45分まで   |
| 開 催 場 所                  | 枚方市市民会館 3階 第1会議室  |
| 出 席 者<br>（評価員・50音順）      | 枚方市委託業務総合評価一般競争入札評価員<br>遠藤評価員、福岡評価員、森田評価員、吉村評価員<br>事務局：財務部総合契約検査室（山口、橋本、的場）<br>環境事業部穂谷川清掃工場（園田、岩下、加藤、山崎）  |
| 案 件 名                    | (1) 枚方市穂谷川清掃工場焼却処理施設運転管理等業務委託に係る委託業務総合評価一般競争入札の落札者決定基準に基づく落札候補者の決定について<br>(2) その他   |
| 提 出 資 料 等                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・枚方市穂谷川清掃工場焼却処理施設運転管理等業務委託総合評価一般競争入札執行調書</li> <li>・枚方市穂谷川清掃工場焼却処理施設運転管理等業務委託入札参加者評価点一覧及び各社評価基準採点表</li> <li>・枚方市穂谷川清掃工場焼却処理施設運転管理等業務委託総合評価一般競争入札落札者決定基準</li> <li>・枚方市穂谷川清掃工場焼却処理施設運転管理等業務委託仕様書</li> </ul> |
| 決 定 事 項                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・入札参加者評価点一覧（案）及び各社評価基準採点表（案）について意見聴取が行われた。</li> <li>・落札候補者について意見聴取が行われた。</li> </ul>  |
| 会議の公開・非公開<br>非 公 開 の 理 由 | 非公開<br>枚方市情報公開条例第6条第7号に規定する非公開情報が含まれる事項について審議・調査を行うため。  |
| 会議録の公表・非公表               | 公表  |
| 所管部署（事務局）                | 財務部総合契約検査室、環境事業部穂谷川清掃工場   |

## 審 議 内 容

### 《開会》

事務局から評価員4人の出席を確認し、会議が成立していることの報告を受けた。

### ●案件(1) 枚方市穂谷川清掃工場焼却処理施設運転管理等業務委託に係る委託業務総合評価一般競争入札の落札者決定基準に基づく落札候補者の決定について

今回の入札申し込みのあった1社について、入札参加者評価点一覧(案)及び各社評価基準採点表(案)等に基づき、各評価項目及び評価点の説明を事務局から受けた。

#### □価格評価及び技術的評価について

評価員：初度の参加者は1社で中止となったが、再度の発注においても1社だったのか。

事務局：そのとおりである。

評価員：発注において、問い合わせ等はあったのか。

事務局：あまりなかった。

評価員：入札参加が難しい案件なのか。

事務局：そういうわけではない。ただ、特殊な技術、特殊なスキルを要するので、それほど多くあるものではない。さらに、当工場は老朽化した施設であり、仕様書の中でも業務経験年数等の制限は設けている。

評価員：入札参加にあたっての条件が厳しいのか。

事務局：老朽化した施設ということもあり、技術力を確保する必要があるので、多少は厳しい条件を設けている。

評価員：技術の面で非常に厳しく考えているので、単に仕様書に沿ったマニュアルだけではなく、「より効果的な」というところが、厳しいものとなっていると思う。しかし、そのような本件施設の老朽化という特徴を踏まえて、さらにもう少し効果的な提案が欲しかった。ところが、それは難しかったという結果になったのではないのか。

事務局：結果的に1社となったが、評価項目の設定に当たっては、他市等における工場でこのようなことを実施し、また、効果を上げてきたというものを具体的に提案してもらい、それを当工場でも使える技術であるというものをこの総合評価から得られれば、より高い技術力の確保につながるのではないかという考えであったが、至らなかったという結果となった。

評価員：今後、日常業務の中で、さらに効果的なものを考え出し、工夫していくことにより、より良いものになっていくということか。

事務局：そう考えている。今回の参加者の提案についても、もちろん内容は適正であり、具体的に示してある。日常業務をするにあたっては、これだけのことができれば、十分に炉運転はできるというレベルのものは全部、提出書類の中では確認できているので、さらに今後、提案内容を実現していくことにより、老朽化した施設の不具合箇所の予見や早期

発見に繋げていくと、本業務はより良くなっていくと考えている。

評価員：契約締結後の業務履行期間中におけるモニタリングというか事業評価のようなものは行  
うのか。本業務における安全推進委員会の設置など安全性の確保ということで、提案が  
あっても実際にその委員会が開催されるかどうかである。また、議事録も残っているの  
かどうかというのが非常に重要になってくる。

事務局：仕様書に記載しているが、総合評価対象案件については全案件モニタリングを行って  
いる。

評価員：本案件に係る前回の入札方式は。

事務局：前は制限付き一般競争入札による価格競争行い、3社の応募があった。

評価員：安全推進委員会を設置するという提案に対し満点評価となっているが、その評価自体に  
ついて何かというものはないが、特に老朽化していることもあり、プラントそのものの  
作業者にとっての安全性については、当然、発注者側と協議しないと確保できないとい  
うのがある。例えば、いわゆる問題があったとき、臆せず発注者と協議するという方が  
より良いと考えるが。

事務局：仕様書においても様々な問題が生じた場合、運転方法を変更する場合等については、そ  
の都度、発注者側との協議の上で決めていくということは仕様書に明確に規定してい  
る。例えば、この安全衛生委員会という部分で出てきた諸問題であるとか等々について  
は、発注者側と常に協議を持つこととし、受注者が独自の判断でということにならない。

評価員：本件施設の中で、排気ガス等のパイプが腐食し、ガスが職場の中に流入したり、あるい  
は騒音等でそこで働いている人の労働環境について、支障が出ないような環境測定とい  
うのは受注者ではなく発注者である市が実施するのか。

事務局：騒音、臭気の測定等は市が行っている。

#### □社会的価値評価について

評価員：個別点について、得点が半分程度は欲しかったが女性もおられるようなのでそのような  
啓発活動、また、社内規定も設けているようだが実践面が少し弱いのではないか。その  
あたりをもう少し頑張ってもらいたいたら会社としても働きやすい環境になるのではな  
いかと感じる。

評価員：現行の契約において、社員の中には女性社員がおられるのか。また、本社ではなく当清  
掃工場の詰所にもおられるのか。

事務局：会社にはおられる。また、当清掃工場では夜勤勤務で作業員の中には女性は含まれて  
いない。

評価員：個別の事案について、配点の内訳は事前には公表しないのか。

事務局：ガイドラインは、常時からホームページに掲載している。個別の事案についての配点は、  
案件の公告時に、落札者決定基準とともに配点も公表している。

#### ●案件(2) その他

今後のスケジュールについて、事務局から説明を受けた。

《閉会》

